

特別支援学級（知） 国語科学習指導案

日 時 平成30年9月27日（木）5校時
児 童 第2学年 男1名 女0名 計1名
指 導 者

- 1 単元名 じゅんじょに気をつけて読もう
- 2 学習材名 「ヨットカーの作り方」（東京書籍2年上）
- 3 付けたい力と言語活動

〈付けたい力〉

◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む。

C(1)イ

【視点1】

〈言語活動〉

◎順序を表す言葉を手掛かりにして順序に気を付け、ヨットカーを作る。

4 単元について

(1) 児童について

A児は、読みについては一文字ずつ拾い読みで、音読して意味を読み取ることは困難であったが、2年生になってからは言葉や文節ごとに区切って読むことで音読がスムーズになり、意味も読み取れるようになってきた。書くことでは、斜めの線を書けずひらがなを覚えるのに苦労したが、現在ではひらがなとカタカナを書くことができるようになった。しかし、急に忘れてしまうこともある。また、促音や拗音、長音などの表記を間違えてしまうことも多い。漢字については、1年生で学習した漢字は7割程度書けるが、2年生になってから学習した漢字は2割程度しか書けない。

静かにしていても教師の話を聞いていなかったり、集中を続けることが困難であったりするという傾向がある。

(2) 学習材について

本教材は、ヨットカーを作る手順を説明した文章である。構成は、「話題提示」「用意するもの」「作成の手順」「遊び方」に分かれており、それぞれに見出しが付けられている。

「作り方」では、作成の工程が段落ごとに分かれており、順序を表す言葉を手がかりに作る順序が分かるようになっている。順序を表す言葉については「ことばを絵でつたえよう」で学習したが、この単元でもう一度触れることで理解を確実なものにしていきたい。

文章の指示に従って正しい手順で作ることにより楽しいヨットカーが作れるため、児童も意欲的に学習に向かうことができると思われる。

(3) 指導に当たって

本単元では、順序を表す言葉に気を付けて読むことができることを目標としている。そのために、まず、順序を表している言葉を見つけさせ、次にその言葉をもとに何をどういう順番で作ればよいかを読み取らせる。また、常に順序を表す言葉を意識させるために、言葉と手順を表にして見えるところに掲示したい。

ヨットカーの製作にあたっては、今何をしているのか、次は何をするのか時々声をかけることで手順を意識させたい。

5 単元の見目

- ヨットカーに興味を持ち、進んで教材文を読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎ヨットカーの作り方を順序に気を付けて読むことができる。 【読C(1)イ】
- 順序が分かる大事な言葉を書き抜くことができる。 【読C(1)エ】
- 順序を表す言葉が分かり、使用することができる。 【伝国(1)イ(ア)】

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	○ヨットカーに興味を持ち、進んで教材文を読もうとしている。	
読む能力	◎ヨットカーの作り方を順序に気を付けて読んでいる。 ○順序が分かる言葉を書き抜いている。	(イ) (エ)
言語についての 知識・理解・技能	○順序を表す言葉が分かり、使用している。	(イ) ア

7 単元の指導計画 (全5時間)

次	時	学 習 活 動
一	1	○これまでのおもちゃ作りや工作などの体験を想起する。 ○ヨットカーがどのようなものかを確認する。
二	2	○教材文を読み、題名や見出しを手掛かりにしながら、大まかな説明の内容とまとまりを捉える。 ○「よいするもの」を下の図版と対照させながら確認する。
	3	○「作り方」について、下の図版を参考にしながら段落ごとに内容を捉える。 ○段落の中は、最初の文が概要を表し、その後に詳細が述べられていることを確認する。 ○順序を表す言葉を手掛かりにして、手順を表に整理する。
	4 時	○手順に気をつけてヨットカーを作る。 ○完成後作った手順を友だちに知らせる。
三	5	○〈あそび方〉を読んでヨットカーで遊ぶ。 ○作り方の説明で分かりやすかった部分を思い出す。 ○順序を表す言葉「まず」「つぎに」「それから」「さい後に」を使って、ヨットカーの作り方を知らせる文を作りノートに書く。

8 本時の指導

(1) 目標

手順に気を付けてヨットカーを作る。

(2) 展開

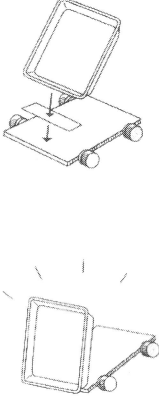
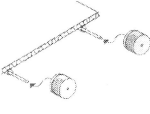
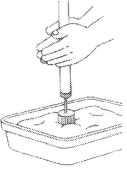

段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
導入 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。 作るじゅんじょに気を付けて、ヨットカーを作ろう。</p>	<p>○前時に作成した手順の表を想起させ、本時は手順に気を付けてヨットカーを作ることを確認する。</p>
展開 30分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 順序に気を付けてヨットカーを作る。 ・「まず」「つぎに」「それから」「さい後に」の言葉を手掛かりにヨットカーを作る。</p> <p>(2) 作った手順を振り返る。</p>	<p>○時間の目安を知らせる。 「20分で作って、その後どうやって作ったか発表するための練習をします。」 (進行表, タイムタイマー)</p> <p>○「最初何をする?」「次何をする?」などと声をかけて手順を意識させる。</p> <p>○手順を書いた表と教科書を、常に見やすいところに置く。</p> <p>◎順序を表す言葉を手掛かりにして次に何をやればよいかを読み取り、ヨットカーを作っている。(発言, つぶやき)</p> <p>○「まず」「つぎに」「それから」「さい後に」のカードを使い、発表の練習をさせる。</p> <p>○作った手順が出てこないときは「まずなにをやった?」「次になにをやった?」などと問いかける。</p> <p>○段落の最初の文がその段落の概要を表していることを想起させる。</p>
終末 10分	<p>4 本時の振り返りをする。 ・学習内容を交流する。 【視点3】</p> <p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○「まず」「つぎに」「それから」「さい後に」のカードを使い、順番を意識させながら発表させる。</p>

(3) 評価

B：順序を表す言葉を手掛かりにして、次に何をやればよいかを読み取り、ヨットカーを作っている。

支援：今何をやっていて、それはどこに書いてあるのかを時々振り返らせることで手順を意識させる。

(4) 板書計画

さい後に		それから	つぎに	まず
 <p data-bbox="395 465 427 622">ほをつけます。</p>		<p data-bbox="628 465 660 837">タイヤのあなに竹ひごを通します。</p> 	<p data-bbox="855 465 887 882">ペットボトルのふたにあなをあけます。</p> 	<p data-bbox="1091 465 1123 1003">だんボールにストローをつけて竹ひごを通します。</p>

作るじゅんじよに気をつけて、ヨットカーを作ろう。

ヨットカーの作り方